

令和7年度 事業報告書

特定非営利活動法人 海の環境教育 NPO bridge

1 事業の成果

「環境教育事業」では、中高等学校での「フィールド活用型の探究学習プログラム」の提供および、小学校での LAB to CLASS 教材を活用した環境学習授業のサポート等を行なった。さらに、本年度は複数校の教員や教育関係者との協働プロジェクトとして、東京湾唯一の広域干潟「盤州干潟」のフィールド体験を核に「グローバルな社会課題を学習者個々の主体性に基づき多角的な視点で学ぶ」探究学習プログラム(中高生対象)を自主事業としてスタート(試行実施)。2026 年度以降、実施地域でのネットワークを構築、教育関係者やフィールドワーカーとの連携を強め、事業としての定着を目指していく。

「情報収集および情報提供事業」では、以下3つの事業を行なった。

- ①内陸部を含む全国の小中学生が「海の自然と、海と自分たちの(生活との)つながり」を体験的に学ぶための教材『LAB to CLASS』(多分野の研究者や NPO 等との協働プロジェクト)の教材改訂。より幅広い層への利用を目指し、既存教材『干潟のジグソーパズル』の改訂および指導者資料の充実を図った。
- ②上記海洋学習教材『LAB to CLASS』の普及のため、通常の一般向けの広報に加え、地域 ESD 活動拠点のネットワークや企業向けセミナーなどで、環境保全に関心の高い団体・企業に向けた広報活動を行なった。
- ③日本沿岸に生息するミナミハンドウイルカとスナメリをモデルに海洋哺乳類の体のしくみと海と人間生活のつながりを学ぶためのワークショップを鯨類に対する知識を持たない指導者でも簡単に行える環境学習キット「実物大のイルカをつくろう!」「実物大のスナメリをつくろう!」頒布のための広報活動を継続実施。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 6,015】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者延人数	事業費(千円)
環境教育事業	中高等学校に対するフィールド活用型環境学習のサポート事業(事前事後学習含む)	R7年4月～R8年3月	東京都	内部5名	東京近県	860名	5,187
	中高生対象「海の探究学習プログラム」(通年型)	R7年5月～R8年3月	東京都	内部5名	東京都	7名	
	小学生対象海洋学習フィールドプログラム	R7年8月	東京都	内部2名	横浜市	小学生30名	
	小学校に対する海洋環境授業のサポート事業	R7年9・12月	東京都 千葉県	内部2名	東京都 千葉県	研修会34名 教材利用：不特定多数	
情報収集・提供事業	環境学習キット「実物大のイルカをつくろう!」「実物大のスナメリをつくろう!」の普及・頒布	R7年4月～R8年3月	東京都	内部2名	全国	不特定多数	828
	海洋学習教材『LAB to CLASS』の教材開発、および web 環境を活用した普及	R7年4月～R8年3月	全国	内部8名	全国	不特定多数	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)